

2024 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
総合型選抜「B 方式・C 方式 1 期」

入試問題

試験科目：「小論文」

日 程：2023 年 10 月 21 日 (土)

試験時間：50 分 / 解答字数：800 字程度

芸術学部 芸術学科 美術領域

対象コース：全コース

[課題]

近年、ダイバーシティという言葉が広まっています。一般的には「多様性」と訳されます。ダイバーシティ（多様性）という視点から、美術についてのあなたの考えを 800 字程度で述べなさい。

[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

美術におけるダイバーシティについては、つくり手側や素材・テーマあるいは作品の発表方法等、多くの視点から述べる事が可能である。また、自分らしい表現を行うためにも大切な観点であり、すべての表現者がダイバーシティの当事者でもある。つまり美術の世界では性差や年齢、障がいの有無を超えて、誰もが作品をつくり出すことができる。このような「一人ひとり違うこと＝自分らしさ」であるといった思考や認識の過程を評価の対象とする。

2024 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
総合型選抜「B 方式・C 方式 2 期」

入試問題

試験科目：「小論文」

日 程：2023 年 12 月 16 日 (土)

試験時間：50 分 / 解答字数：800 字程度

芸術学部 芸術学科 美術領域

対象コース： 全コース

[課題]

近年、「映える」という言葉が SNS を中心に様々な場面で使われています。

「映える」ことについてのあなたの考えを 800 字程度で述べなさい。

[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

様々な現象を綺麗に見せることを指す「映える」は、SNS を通して広まりました。人物だけでなく景色や料理など、多様な世界観に対して実際よりも綺麗でかわいい状態を示すことが求められています。より良く見せるという概念は古くからありましたが、「映える」もそのような古来の理想化が現代の社会環境や文化的背景の中で発展したものだといえます。「映える」ことの考察を通して、過去から現在にいたる美意識のあり方への思考や認識を評価の対象とします。